



2024年9月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2024年10月24日

上場会社名 株式会社PLANT

上場取引所 東

コード番号 7646 URL <https://www.plant-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三ッ田 佳史

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 山田 准司

TEL 0776-72-0300

定時株主総会開催予定日 2024年12月19日

配当支払開始予定日 2024年11月25日

有価証券報告書提出予定日 2024年12月19日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期の業績(2023年9月21日～2024年9月20日)

(1) 経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年9月期	98,585	1.1	2,128	35.6	2,249	23.2	365	99.5
2023年9月期	97,548	2.3	1,569	8.4	1,825	19.2	183	43.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2024年9月期	49.86		2.4	5.7	2.2
2023年9月期	23.46		1.2	4.5	1.6

(参考) 持分法投資損益 2024年9月期 百万円 2023年9月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2024年9月期	38,385	14,388	37.5	2,084.06
2023年9月期	41,049	15,674	38.2	2,027.89

(参考) 自己資本 2024年9月期 14,388百万円 2023年9月期 15,674百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	2,502	832	2,437	5,617
2023年9月期	2,927	1,130	1,613	6,383

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2023年9月期		5.00		27.00	32.00	247	136.4	1.6
2024年9月期		20.00		30.00	50.00	353	100.3	2.4
2025年9月期(予想)		30.00		45.00	75.00		30.5	

3. 2025年9月期の業績予想(2024年9月21日～2025年9月20日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	48,600	0.7	1,400	13.6	1,450	11.5	965	5.8	139.77
通期	97,800	0.8	2,450	15.1	2,550	13.4	1,700	364.9	246.24

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期	7,729,720 株	2023年9月期	8,090,000 株
期末自己株式数	2024年9月期	825,752 株	2023年9月期	360,280 株
期中平均株式数	2024年9月期	7,333,586 株	2023年9月期	7,814,124 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当事業年度(自 2023年9月21日 至 2024年9月20日)におけるわが国経済は、雇用や所得環境に改善の兆しが見え始めた一方、エネルギーコストや原材料価格に起因する物価上昇が顕著になりました。さらに円安や世界的な金融引き締めによる景気への影響が懸念されるなど、先行きへの不透明感が継続しました。

小売業界においては、価値あるものをお得に買うための選別消費が進みました。外出や人が集まる機会が増えたことによって、高付加価値商品への積極的な支出が見られた反面、生活必需品は節約志向が高まるなど、消費行動の二極化傾向はさらに進んでおります。

当社が2店舗出店している石川県では、1月1日に「令和6年能登半島地震」が発生し、能登地方を中心に甚大な被害に見舞われました。当社では、地域のお客様の「生活のよりどころとなる店」として、速やかに店舗の営業再開を行うとともに、出店地域の自治体との災害協定に基づく災害救援物資の供給をすることができました。

このような状況のもと、当社は、収益力の強化を最重要課題とし、進行中の中期経営計画(2026年9月期まで)における下記の施策に積極的に取り組んでおります。

a. 価値の発信 (P B商品開発や商販宣の連携の強化)

当社にしかない価値あるP B商品を開発し、目的来店性・粗利率アップを図るため、5月21日にはP B開発本部を設置し、アパレルを中心に商品開発の強化を行っております。また、商品の良さをお客様に伝えきれていなかった課題から、商品開発の強化に加えて販売や宣伝との連携「商販宣の連携」による価値の発信を強化する取り組みを進めております。

b. R-9 (R=Revolution 業務改革による人件費9億円削減)

人口減による人手不足・労働単価上昇への対応として機械化等を推進し業務の合理化を図ります。当事業年度には当社全23店舗でセルフレジ導入を完了するなど、セルフレジ利用客数の増加によるレジに関わる人件費の削減を図っております。また精肉部門では、チャンスロス・廃棄ロスの削減及び店舗での作業時間の短縮を図るため、プロセスセンターの2025年9月期の稼働開始に向けた準備を進めてまいりました。

当事業年度では、6月16日をもって「P L A N T 善通寺店」を閉店いたしました。P L A N T 善通寺店は、2014年3月の開店以来、地域の皆様のご愛顧、ご支援をいただき、営業をしてまいりましたが、店舗、設備の老朽化により閉店いたしました。

以上の結果、当事業年度末における経営成績は、売上高は98,585百万円(前事業年度比1.1%増)となりました。利益におきましては、営業利益は2,128百万円(前事業年度比35.6%増)、経常利益は2,249百万円(前事業年度比23.2%増)、当期純利益は、建物等の固定資産の一部について「固定資産の減損にかかる会計基準」に基づき、特別損失として減損損失1,575百万円を計上したため、365百万円(前事業年度比99.5%増)となりました。

当社は、フーズ、ノンフーズ等の小売業という単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における資産合計は、前事業年度末に比べ、2,663百万円減少し、38,385百万円となりました。これは主に、現金及び預金が766百万円、減損損失の計上などにより有形固定資産が2,116百万円減少したことによるものであります。

当事業年度末における負債合計は、前事業年度末に比べ、1,376百万円減少し、23,997百万円となりました。これは主に、借入金の返済により長期借入金が480百万円減少したことによるものであります。

当事業年度末における純資産合計は、前事業年度末に比べ、1,286百万円減少し、14,388百万円となりました。これは主に、当期純利益が365百万円となり、剰余金の配当が355百万円、自己株式の取得が1,301百万円あったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ766百万円減少し、5,617百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において営業活動の結果得られた資金は2,502百万円（前年同期2,927百万円の獲得）となりました。これは主に、税引前当期純利益821百万円、減価償却費1,399百万円があった一方、棚卸資産の増加283百万円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は832百万円（前年同期1,130百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得691百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において財務活動の結果使用した資金は2,437百万円（前年同期1,613百万円の使用）となりました。これは、長期借入金の返済による支出480百万円、自己株式の取得による支出1,301百万円があったことによるものであります。

（キャッシュ・フロー関連指標の推移）

当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期
自己資本比率(%)	37.5	39.2	38.2	37.5
時価ベースの自己資本比率(%)	14.2	12.8	15.1	27.2
債務償還年数(年)	23.3	3.8	2.6	2.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	4.3	26.1	42.3	42.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

（注1）株式時価総額は、期末株価×期末発行済株式数により算出しています。

（注2）有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債の内、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

（注3）営業キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

（注4）利払いは、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後におけるわが国経済は、政府による各種政策の効果もあり、雇用や所得環境が改善する中、緩やかな回復が期待されますが、欧米をはじめ世界的な金融引き締めによる影響や中国経済の先行きが心配されるなど、海外景気の下振れ、並びに更なる物価の上昇や住宅ローン金利の上昇等、生活を直撃する懸念が続くものと思われま

す。また低価格競争の激化、ネット販売や食品の宅配等の事業環境変化、人手不足のなか人材確保にかかる人件費をはじめ、物流コスト等各種経費が上昇し、今後も経営環境は益々厳しさを増すものと思われま

す。このような状況のもと、第44期（2025年9月期）につきましても、引き続き「価値の発信（PB商品開発や商販宣の連携の強化）による売上増・粗利率アップ及び目的来店性を高め客数増」、「業務改革による人件費削減」を重点施策とし、収益構造改革に取り組んでまいります。

以上のことから、2025年9月期の業績見通しといたしましては、売上高97,800百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益2,450百万円（前年同期比15.1%増）、経常利益2,550百万円（前年同期比13.4%増）、当期純利益1,700百万円（前年同期比364.9%増）を見込んでおります。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年9月20日)	当事業年度 (2024年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,383	5,617
売掛金	2,200	2,220
リース投資資産	28	17
商品	8,621	8,878
貯蔵品	34	61
その他	587	590
流動資産合計	17,856	17,385
固定資産		
有形固定資産		
建物	22,807	21,830
減価償却累計額	△15,058	△15,514
建物(純額)	7,749	6,315
構築物	3,496	3,403
減価償却累計額	△2,705	△2,777
構築物(純額)	791	625
機械及び装置	391	475
減価償却累計額	△207	△256
機械及び装置(純額)	184	218
車両運搬具	76	84
減価償却累計額	△65	△67
車両運搬具(純額)	10	17
工具、器具及び備品	3,195	3,246
減価償却累計額	△1,623	△1,950
工具、器具及び備品(純額)	1,571	1,295
土地	7,254	7,254
リース資産	3,243	2,819
減価償却累計額	△2,275	△2,332
リース資産(純額)	967	486
建設仮勘定	7	206
有形固定資産合計	18,536	16,420
無形固定資産		
借地権	1,054	1,032
ソフトウェア	390	426
リース資産	21	7
その他	6	6
無形固定資産合計	1,472	1,473
投資その他の資産		
投資有価証券	27	32
リース投資資産	110	93
長期前払費用	60	52
繰延税金資産	677	680
敷金及び保証金	2,284	2,225
その他	23	23
投資その他の資産合計	3,183	3,106
固定資産合計	23,192	21,000
資産合計	41,049	38,385

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年9月20日)	当事業年度 (2024年9月20日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	641	587
買掛金	6,876	6,800
1年内返済予定の長期借入金	480	480
リース債務	300	132
未払金	1,226	2,981
未払費用	1,171	1,133
未払法人税等	320	244
賞与引当金	581	554
その他	673	773
流動負債合計	12,272	13,688
固定負債		
長期借入金	6,000	5,520
リース債務	804	671
退職給付引当金	573	547
長期未払金	2,314	273
長期預り敷金保証金	309	270
資産除去債務	3,100	3,025
固定負債合計	13,102	10,308
負債合計	25,374	23,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,425	1,425
資本剰余金		
資本準備金	1,585	1,585
資本剰余金合計	1,585	1,585
利益剰余金		
利益準備金	257	257
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	1,836	1,764
別途積立金	3,141	3,141
繰越利益剰余金	7,592	7,510
利益剰余金合計	12,828	12,674
自己株式	△164	△1,301
株主資本合計	15,674	14,383
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	4
評価・換算差額等合計	—	4
純資産合計	15,674	14,388
負債純資産合計	41,049	38,385

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)	当事業年度 (自 2023年9月21日 至 2024年9月20日)
売上高		
商品売上高	97,130	98,174
不動産賃貸収入	417	411
売上高合計	97,548	98,585
売上原価		
商品期首棚卸高	8,232	8,621
当期商品仕入高	75,877	76,063
合計	84,109	84,685
商品期末棚卸高	8,621	8,878
商品売上原価	75,488	75,806
不動産賃貸原価	71	68
売上原価合計	75,559	75,874
売上総利益	21,989	22,711
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	8,828	9,009
賞与引当金繰入額	581	554
退職給付費用	146	98
減価償却費	1,527	1,391
その他	9,335	9,527
販売費及び一般管理費合計	20,419	20,582
営業利益	1,569	2,128
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	3
受取手数料	146	150
助成金収入	25	25
受取保険金	19	—
補償金収入	50	—
支援金収入	82	—
雑収入	42	36
営業外収益合計	370	216
営業外費用		
支払利息	71	60
固定資産除却損	4	—
投資有価証券評価損	13	—
雑損失	24	35
営業外費用合計	114	95
経常利益	1,825	2,249
特別利益		
補助金収入	121	9
資産除去債務戻入益	37	119
固定資産売却益	—	18
退職給付制度移行益	177	—
特別利益合計	336	148
特別損失		
減損損失	1,561	1,575
特別損失合計	1,561	1,575
税引前当期純利益	600	821
法人税、住民税及び事業税	526	458
法人税等調整額	△108	△2
法人税等合計	417	455
当期純利益	183	365

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)

(単位:百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計		
				固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	1,425	1,585	257	1,829	3,141	7,591	12,820	△0	15,830
当期変動額									
自己株式の取得								△164	△164
固定資産圧縮積立金の積立				84		△84	—		—
固定資産圧縮積立金の取崩				△77		77	—		—
剰余金の配当						△174	△174		△174
当期純利益						183	183		183
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	7	—	1	8	△164	△155
当期末残高	1,425	1,585	257	1,836	3,141	7,592	12,828	△164	15,674

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	△17	15,813
当期変動額		
自己株式の取得		△164
固定資産圧縮積立金の積立		—
固定資産圧縮積立金の取崩		—
剰余金の配当		△174
当期純利益		183
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	17	17
当期変動額合計	17	△138
当期末残高	—	15,674

当事業年度(自 2023年9月21日 至 2024年9月20日)

(単位:百万円)

	株主資本								自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				利益剰余 金合計		
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金						
				固定資産 圧縮積立 金	別途積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	1,425	1,585	257	1,836	3,141	7,592	12,828	△164	15,674	
当期変動額										
自己株式の取得								△1,301	△1,301	
自己株式の消却						△164	△164	164	—	
固定資産圧縮積立金の 積立				6		△6	—		—	
固定資産圧縮積立金の 取崩				△79		79	—		—	
剰余金の配当						△355	△355		△355	
当期純利益						365	365		365	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	△72	—	△82	△154	△1,136	△1,291	
当期末残高	1,425	1,585	257	1,764	3,141	7,510	12,674	△1,301	14,383	

	評価・換 算差額等	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	
当期首残高	—	15,674
当期変動額		
自己株式の取得		△1,301
自己株式の消却		—
固定資産圧縮積立金の 積立		—
固定資産圧縮積立金の 取崩		—
剰余金の配当		△355
当期純利益		365
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	4	4
当期変動額合計	4	△1,286
当期末残高	4	14,388

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)	当事業年度 (自 2023年9月21日 至 2024年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	600	821
減価償却費	1,535	1,399
長期前払費用償却額	4	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	118	△26
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,184	△25
減損損失	1,561	1,575
補助金収入	△121	△9
退職給付制度移行益	△177	—
資産除去債務戻入益	△37	△119
固定資産売却益	—	△18
受取利息及び受取配当金	△3	△3
支払利息	71	60
売上債権の増減額 (△は増加)	△358	△20
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△384	△283
仕入債務の増減額 (△は減少)	476	△130
未払消費税等の増減額 (△は減少)	136	78
未払金の増減額 (△は減少)	402	42
長期未払金の増減額 (△は減少)	659	△274
その他	192	△53
小計	3,490	3,015
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△69	△58
補助金の受取額	121	9
法人税等の支払額	△616	△464
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,927	2,502
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,001	△691
無形固定資産の取得による支出	△217	△219
敷金及び保証金の差入による支出	△122	△2
敷金及び保証金の回収による収入	210	23
有形固定資産の売却による収入	—	60
その他	—	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,130	△832
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△826	△480
配当金の支払額	△174	△355
自己株式の取得による支出	△164	△1,301
その他	△447	△300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,613	△2,437
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	183	△766
現金及び現金同等物の期首残高	6,200	6,383
現金及び現金同等物の期末残高	6,383	5,617

(5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は、関連会社がないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、フーズ、ノンフーズ等の小売業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度 (自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位: 百万円)

	フーズ	ノンフーズ	その他	合計
外部顧客への売上高	66,754	30,376	417	97,548

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当事業年度 (自 2023年9月21日 至 2024年9月20日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位: 百万円)

	フーズ	ノンフーズ	その他	合計
外部顧客への売上高	66,542	31,631	411	98,585

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

項目	前事業年度 (自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)	当事業年度 (自 2023年9月21日 至 2024年9月20日)
1株当たり純資産額（円）	2,027.89	2,084.06
1株当たり当期純利益（円）	23.46	49.86

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度末 (2023年9月20日)	当事業年度末 (2024年9月20日)
純資産の部の合計額（百万円）	15,674	14,388
普通株式に係る期末の純資産額（百万円）	15,674	14,388
期末の普通株式の数（株）	7,729,720	6,903,968

（注）3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年9月21日 至 2023年9月20日)	当事業年度 (自 2023年9月21日 至 2024年9月20日)
当期純利益（百万円）	183	365
普通株式に係る当期純利益（百万円）	183	365
期中平均株式数（株）	7,814,124	7,333,586

（重要な後発事象）

該当事項はありません。